

台東区  
区民満足度調査

平成 23 年 3 月

台東区



## 「台東区 区民満足度調査」について

区民の皆さまには、日頃より区政にご協力いただきありがとうございます。

このたび「平成22年度 台東区 区民満足度調査」の結果につきまして、取りまとめをいたしましたのでご報告いたします。

この調査は、子育て・教育、文化の充実、健康と福祉、産業振興など、区のさまざまな取り組みについて、区民の皆さまのお考えをお聞きしたものです。

調査の実施にあたりましては、区内にお住まいの満20歳以上の方から無作為に1,000名を選ばせていただきました。調査にご協力いただきました皆さまに、深く感謝いたします。

調査の内容は、台東区基本構想、長期総合計画の各分野につきまして、区民の皆さまが、どの分野を重要と考えるか、各分野における満足度はどうか、そして、今後、各分野について、どのような取り組みが大切と考えるか、などをお伺いいたしました。

なお、調査結果はすべて個人が特定できないよう統計的に処理しておりますので、ご回答いただいた皆さまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

この調査結果を受けまして、今後、長期総合計画等の取り組みを、より一層充実してまいりたいと存じますので、よろしく、お願い申し上げます。

平成23年3月

台東区 企画財政部企画課



# ～ 目 次 ～

<b>I 調査の概要</b> .....	1
1. 目的.....	3
2. 対象.....	3
3. 期間.....	3
4. 内容.....	3
5. 調査方法.....	3
6. 報告書の見方.....	4
7. 調査ブロック.....	5
8. 回答者の属性.....	6
<b>II 調査結果の分析</b> .....	9
1. 産業を振興するための取り組み.....	11
(1) 産業の振興についての重要度.....	11
(2) 産業の振興への区の取り組みについての満足度.....	14
(3) 産業の振興のための取り組みとして大切なもの.....	16
2. 観光を振興するための取り組み.....	20
(1) 観光の振興についての重要度.....	20
(2) 観光の振興への区の取り組みについての満足度.....	23
(3) 観光の振興のための取り組みとして大切なもの.....	25
3. 文化を振興するための取り組み.....	28
(1) 文化の振興についての重要度.....	28
(2) 文化の振興への区の取り組みについての満足度.....	31
(3) 文化の振興のための取り組みとして大切なもの.....	33
4. まちづくりのための取り組み.....	37
(1) まちづくりについての重要度.....	37
(2) まちづくりへの区の取り組みについての満足度.....	40
(3) まちづくりのための取り組みとして大切なもの.....	42
5. 環境対策のための取り組み.....	46
(1) 環境対策についての重要度.....	46
(2) 環境対策への区の取り組みについての満足度.....	49
(3) 環境対策のための取り組みとして大切なもの.....	51
(4) 環境に配慮した行動への取り組み.....	54

6. 生涯学習のための取り組み.....	57
(1) 生涯学習についての重要度.....	57
(2) 生涯学習への区の取り組みについての満足度.....	60
(3) 生涯学習のための取り組みとして大切なもの.....	62
(4) 生涯学習への取り組み.....	65
(5) スポーツの頻度.....	68
7. 健康づくりのための取り組み.....	71
(1) 健康づくりについての重要度.....	71
(2) 健康づくりのための区の取り組みについての満足度.....	74
(3) 健康づくりのための取り組みとして大切なもの.....	76
8. 福祉のための取り組み.....	80
(1) 福祉についての重要度.....	80
(2) 福祉のための区の取り組みについての満足度.....	83
(3) 福祉のための取り組みとして大切なもの.....	85
9. 子育てのための取り組み.....	89
(1) 子育てについての重要度.....	89
(2) 子育てのための区の取り組みについての満足度.....	92
(3) 子育てのための取り組みとして大切なもの.....	94
(4) 子育てについて.....	98
(5) 子育てへの自信.....	101
10. 教育のための取り組み.....	104
(1) 教育についての重要度.....	104
(2) 教育のための区の取り組みについての満足度.....	107
(3) 教育のための取り組みとして大切なもの.....	109
11. パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み.....	113
(1) パートナーシップについての重要度.....	113
(2) パートナーシップのための区の取り組みについての満足度.....	116
(3) パートナーシップのための取り組みとして大切なもの.....	118
(4) 地域の活動の状況と今後の活動予定.....	122
(5) ボランティアやNPO活動と今後の活動予定.....	125
12. 行政経営のための取り組み.....	128
(1) 行政経営についての重要度.....	128
(2) 行政経営のための区の取り組みについての満足度.....	131
(3) 行政経営のための取り組みとして大切なもの.....	133

【重要度と満足度の項目間比較】 .....	136
【重要度と満足度の相関】 .....	138
【重要度と満足度の前回調査との比較】 .....	148
【改善要望度】 .....	150
1 3. 施策の優先順位について.....	151
(1) 今後、区が優先的に力を入れていくべき施策 .....	151
1 4. 区政や区役所に対する意見・要望（自由意見） .....	158
Ⅲ 調査票 .....	169
Ⅳ 集計表 .....	191





## I 調査の概要



# I 調査の概要

---

---

## 1. 目的

長期総合計画の施策に対する、区民の満足度等を調査することにより、区が実施している施策の改善を図る。加えて、調査結果を今後の区政における資料として活用する。

## 2. 対象

満20歳以上の区民1,000人  
対象者は、住民基本台帳より無作為抽出

## 3. 期間

平成22年7月26日（月）～8月31日（火）

## 4. 内容

- (1) 産業を振興するための取り組み
- (2) 観光を振興するための取り組み
- (3) 文化を振興するための取り組み
- (4) まちづくりのための取り組み
- (5) 環境対策のための取り組み
- (6) 生涯学習のための取り組み
- (7) 健康づくりのための取り組み
- (8) 福祉のための取り組み
- (9) 子育てのための取り組み
- (10) 教育のための取り組み
- (11) パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み
- (12) 行政経営のための取り組み
- (13) 施策の優先順位について
- (14) 区政や区役所に対する意見・要望（自由意見）

## 5. 調査方法

郵送配布－訪問回収  
（訪問回収にあたっては、区職員が300件の回収を担当）

### 【回収結果】

- ・ 標本数           1,000件
- ・ 有効回収数       683件
- ・ 有効回収率       68.3%

## 6. 報告書の見方

### 〔この報告書における表・グラフの見方〕

- 図表の中のnとは回答者総数（または該当質問の該当者数）を表している。
- 比率はnを100%とした百分比で算出し、小数点以下第2位を四捨五入した。そのために、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがある。
- 1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- 本文や図表中の選択肢表記では、場合によっては語句を短縮・省略化している。
- 分析軸では、その特徴をより明確に出せるように「その他」「無回答」は掲載していない。
- nが小さくなるほどデータの精度が保証しがたくなるので、nが25未満の場合は注意を要する。したがって、nが25を下回る場合、原則的に数値をあげた具体的なコメントは行わない。
- この調査の標本誤差は、おおよそ下表のとおりである。標本誤差は、下式によって得られ、①比率算出の基数（n）および②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数  
n = 比率算出の基数  
p = 回答の比率

回答の比率 (p) 基数(n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
683	±3.3	±4.3	±5.0	±5.3	±5.4
600	±3.5	±4.6	±5.3	±5.7	±5.8
500	±3.8	±5.1	±5.8	±6.2	±6.3
400	±4.2	±5.7	±6.5	±7.0	±7.1
300	±4.9	±6.5	±7.5	±8.0	±8.2
200	±6.0	±8.0	±9.2	±9.8	±10.0

(注) 1. 表は  $\frac{N-n}{N-1} \div 1$  として算出した。

2. 層化を行った場合の誤差は上記表の値よりやや小さくなる。

3. この表の見方は次のとおりである。

「ある設問の回答者が683人であり、その設問中の選択肢の回答比率が70%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも5.0%である。」

## 7. 調査ブロック

この調査では、居住地域別の分析を行うために下記のとおり調査ブロックを設定した。なお、この報告書では理解を助けるために、便宜上、調査ブロックの後に[ ]で地域名を付した。

調査ブロック	該当町丁名
1ブロック [南部地域]	柳橋1・2丁目、浅草橋1～5丁目、蔵前1～4丁目、台東1～4丁目、小島1・2丁目、鳥越1・2丁目、三筋1・2丁目、元浅草1～4丁目、寿1～4丁目、駒形1・2丁目
2ブロック [浅草地域]	松が谷1～4丁目、西浅草1～3丁目、雷門1・2丁目、浅草1～6丁目、花川戸1・2丁目
3ブロック [北部地域]	今戸1・2丁目、浅草7丁目、東浅草1・2丁目、清川1・2丁目、日本堤1・2丁目、橋場1・2丁目
4ブロック [西部地域]	千束1～4丁目、竜泉1～3丁目、三ノ輪1・2丁目、入谷1・2丁目、下谷2・3丁目、根岸1～5丁目
5ブロック [谷中地域]	上野桜木1・2丁目、谷中1～7丁目、池之端3・4丁目
6ブロック [上野地域]	上野1～7丁目、秋葉原、東上野1～6丁目、北上野1・2丁目、下谷1丁目、池之端1・2丁目、上野公園

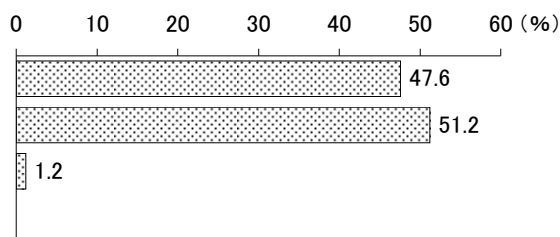
図1 地域区分図



## 8. 回答者の属性

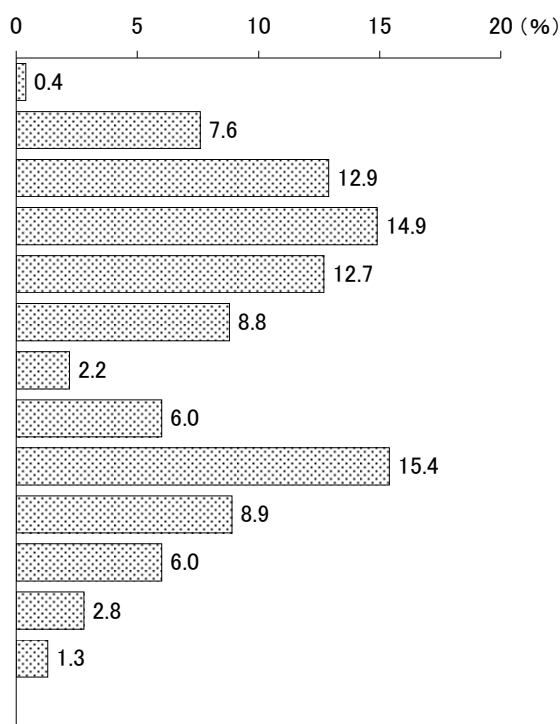
### (1) F1 性別

	基数(人)	構成比(%)
1. 男性	325	47.6
2. 女性	350	51.2
無回答	8	1.2
合計	683	100.0



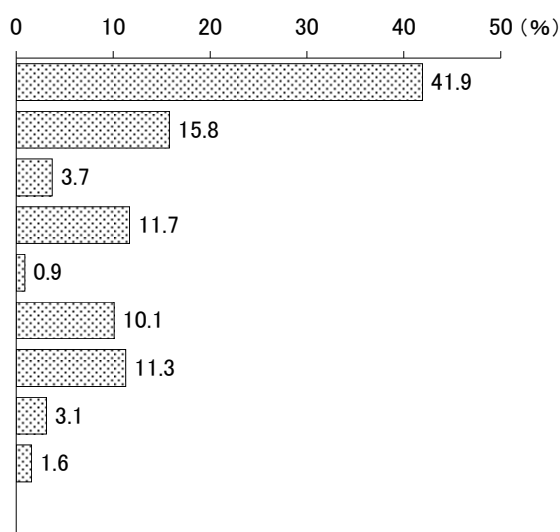
### (2) F2 年齢

	基数(人)	構成比(%)
1. 20～24歳	3	0.4
2. 25～29歳	52	7.6
3. 30～34歳	88	12.9
4. 35～39歳	102	14.9
5. 40～44歳	87	12.7
6. 45～49歳	60	8.8
7. 50～54歳	15	2.2
8. 55～59歳	41	6.0
9. 60～64歳	105	15.4
10. 65～69歳	61	8.9
11. 70～74歳	41	6.0
12. 75歳以上	19	2.8
無回答	9	1.3
合計	683	100.0



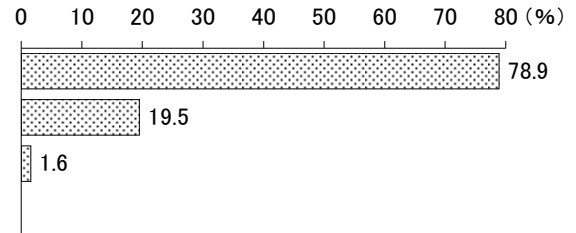
### (3) F3 職業

	基数(人)	構成比(%)
1. 会社員・公務員	286	41.9
2. 自営業・自由業	108	15.8
3. 会社経営者	25	3.7
4. 家事専業	80	11.7
5. 学生	6	0.9
6. アルバイト・パート	69	10.1
7. 無職	77	11.3
8. その他	21	3.1
無回答	11	1.6
合計	683	100.0



(4) F4 同居者の有無

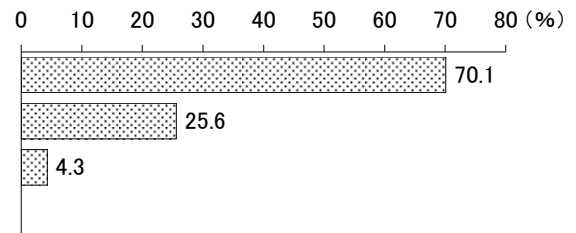
	基数(人)	構成比(%)
1. いる	539	78.9
2. いない	133	19.5
無回答	11	1.6
合計	683	100.0



(5) F5 同居者

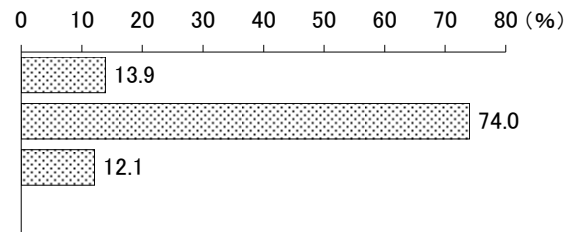
《配偶者》

	基数(人)	構成比(%)
1. いる	378	70.1
2. いない	138	25.6
無回答	23	4.3
合計	539	100.0



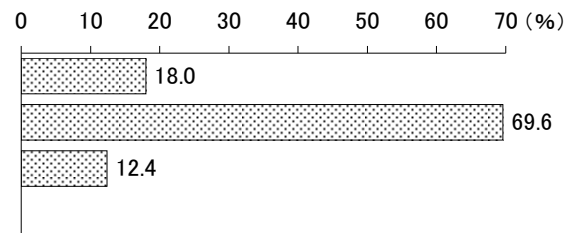
《小学校入学前のお子さん》

	基数(人)	構成比(%)
1. いる	75	13.9
2. いない	399	74.0
無回答	65	12.1
合計	539	100.0



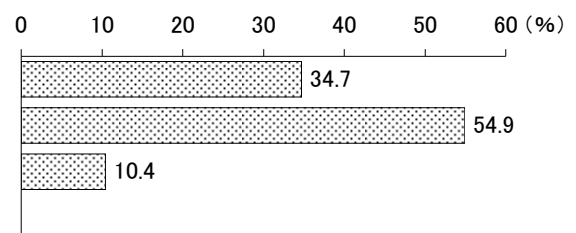
《小・中学生》

	基数(人)	構成比(%)
1. いる	97	18.0
2. いない	375	69.6
無回答	67	12.4
合計	539	100.0



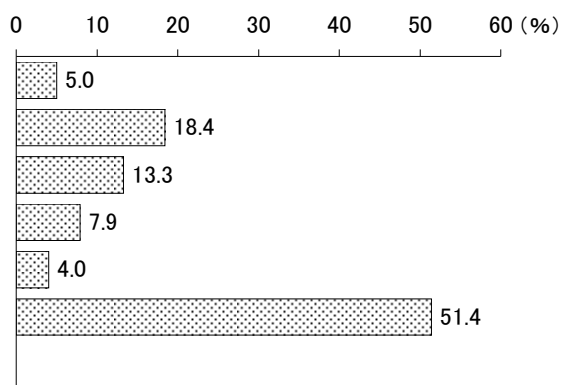
《65歳以上の方》

	基数(人)	構成比(%)
1. いる	187	34.7
2. いない	296	54.9
無回答	56	10.4
合計	539	100.0



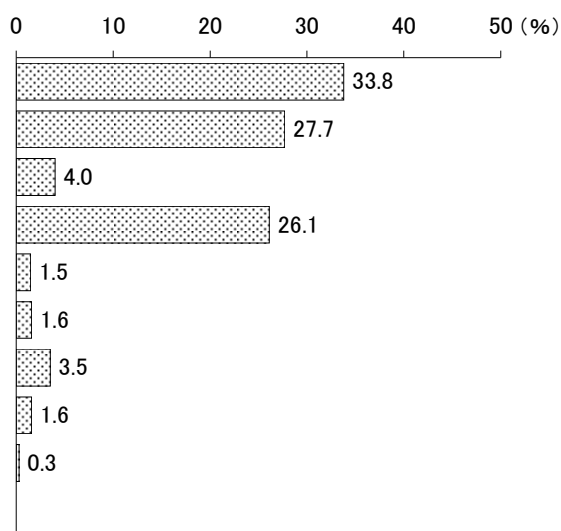
(6) F6 居住年数

	基数(人)	構成比(%)
1. 1年未満	34	5.0
2. 1～5年	126	18.4
3. 6～10年	91	13.3
4. 11～15年	54	7.9
5. 16～20年	27	4.0
6. 21年以上	351	51.4
合計	683	100.0



(7) F7 住居形態

	基数(人)	構成比(%)
1. 一戸建て持家	231	33.8
2. 分譲マンション	189	27.7
3. 一戸建て借家	27	4.0
4. 賃貸アパート・マンション	178	26.1
5. 公営住宅	10	1.5
6. 社宅等	11	1.6
7. 同居、間借り	24	3.5
8. その他	11	1.6
無回答	2	0.3
合計	683	100.0



(8) F8 定住意向

	基数(人)	構成比(%)
1. 住み続けるつもりである	374	54.8
2. できれば住み続けたい	170	24.9
3. できれば移転したい	20	2.9
4. 移転するつもりである	28	4.1
5. 分からない	89	13.0
無回答	2	0.3
合計	683	100.0

